

情報公開文書

研究課題名	骨髄異形成症候群に対するダルベポエチンアルファ投与についての多施設共同後方視的研究
研究体制	☐ 長野赤十字病院が責任研究機関となる ☒ 他施設が責任研究機関となる共同研究 （責任研究機関： 東北医科薬科大学 老年・地域医学講座 ）
研究責任者	責任研究機関 東北医科薬科大学 老年・地域医学講座 氏名 <u>藤川 祐子</u> 当 院 血液内科 氏名 <u>佐藤 慶二郎</u>
研究期間	（西暦） 承認日 ～ 2026 年 3 月
研究の概要	研究目的： 骨髄異形成症候群（MDS）に伴う貧血に対し、赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファが 2014 年から使用可能となり、輸血のための通院を減らすなど生活の質の改善に役立つと考えられます。MDS に対するダルベポエチンアルファの投与状況と有用性について、当院を含む国内の現状を把握し、診療に役立てることを目的とします。 研究の方法： 患者さんの過去の診療情報を診療録（カルテ）から、ダルベポエチンアルファの投与状況、疾患の経過や、併存疾患、併用薬剤、介護サービスの利用状況、などについて情報収集を行い、匿名化したデータをもとに解析を行います。
試料・情報	患者さんの診療録から以下のデータを収集させていただきます。 ・生年月日、性別、併存疾患、処方薬剤、訪問診療・介護サービス利用の有無、要介護度 ・紹介元もしくは紹介先医療機関名 ・MDS の診断日、病型もしくは診断根拠、血液・骨髄検査結果 ・MDS に対する他の薬剤による治療歴の有無と薬剤名、治療期間 ・輸血歴 ・ダルベポエチンアルファ投与開始時、効果判定時もしくは観察終了時の血液検査結果 ・ダルベポエチンアルファの投与量、頻度、投与回数、投与期間 ・顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）併用の有無、投与量、頻度、投与回数、投与期間 ・治療効果 ・転帰（疾患の経過、通院継続しているかどうかなどの状況）

研究対象者	2019年1月1日～2023年12月31日にかけて当院において骨髄異形成症候群に対してダルベポエチンアルファを投与された患者さん ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 血液内科 氏名 <u>佐藤 慶二郎</u> TEL : 026-226-4131（代表） FAX : 026-228-8439